TAKASHO

T-2601110-A1

お客様保管用

組立・施工・取扱説明書

EUP-1209
EUP-1318
EUP-04M
EUP-0311
EUP-0318
EUP-0411
EUP-0418
EUP-0115
EUP-0215
EUP-0111
EUP-0118
EUP-0211
EUP-0218
EUP-R0118
EUP-R0218
EUP-1111
EUP-1118
EUP-S1
EUP-S2
EUP-S1S
EUP-S7
EUP-S9
EUP-R1D
EUP-R1U
EUP-R2U
EULF-A
EULF-B
EULF-E
DBA-120915
DBA-131815
DBA-1111D
DBA-1118D

e-ウッドパネル 共通

このたびは、当社商品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。この商品を安全に正しく施工していただくため、この「組立・施工・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。

安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本説明書および当社カタログに記載されている内容に反する施工やご使用をされた場合、保証対象外となります。

安全記号	
⚠ 警 告	●取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷を負う可能性がある危険度が「高い」内容を示しています。
⚠ 注 意	●取り扱いを誤った場合、使用者が中、軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の可能性があり危険度が「中、軽い」内容を示しています。
一般記号	
ポイント	●組立、施工手順で、特に注意して作業を進める必要がある内容を示しています。 ●注意して守っていただかないと、組立、施工が困難、あるいは強度不足のため、施工後不具合が発生する可能性があります。

施工の前に

⚠ 警告

●この商品は隣地との視界をさえぎる目的で設置するものです。転落・横断防止を目的とした防護柵や、歩行・動作を補助する目的のために使用しないでください。
●屋上やがけの上など、商品が落下した場合にケガをする可能性のある高所には設置しないでください。
●取扱説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。現場の地盤状態に合った基礎部の寸法（体積）にて施工し、安全を確保してください。
●施工時、コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）や、コンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）で塩素系や強アルカリ系のものは、絶対使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊の可能性があり危険です。

⚠ 注意

●安全を確保するため、組み立て、施工は必ず専門の業者が行ってください。
●組み立て、施工は正しく行わないと危険です。組み立て、施工前に必ず取扱説明書を読みください。
●商品を正しく施工するためには、必ず本説明書に従ってください。
●誤った使用を避けるため、組み立て、施工終了後、必ず取扱説明書はお施主様にお渡しして、取り扱いの注意、メンテナンスについて説明してください。
●給排水管などの地下埋設物に影響を与えないか位置を確認してから施工してください。
●土地の高低にかかわらず、柱の埋め込み深さを十分確保してください。
●梱包明細表で必要な部材、部品がすべて揃っているか確かめてから、組み立ててください。
●高台、強風地域、特にがけの上、屋上、風の通り道などへの設置は避けてください。
●給湯、暖房機などの排気熱が直接商品に当たると劣化につながりますので、熱の影響のない場所か確認してください。
●設置場所に正しく施工でき、不具合なく使用することができることを確認してください。
●通路など、通行の妨げになる場所には設置しないでください。
●構造物、建築物の屋根などからの雪の落下を受けない位置に設置してください。
●積雪のある地域では、雪により商品が倒壊しても危険がない場所に設置してください。
●振動、衝撃のある場所には設置しないでください。商品の破損、倒壊につながります。
●大気中に強い酸やアルカリ成分が多く含まれる場所には設置しないでください。商品の性能が低下する可能性があります。

施工上のご注意

注意

●組み立て、施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
●工具、器具、保護具（作業服、保護帽、安全靴、安全帯、その他作業者身体の保護具）などは、安全機能を十分に確認し、正しく使用してください。また不具合のあるものは使用しないでください。
●必ず取扱説明書に従って正しく施工してください。正しい順序で施工されなかった場合には、商品の強度など性能が低下するほか、倒壊につながる場合があります。
●組み立て、施工用のボルト、ビスは規定本数（当社指定純正品）を確実に締め付け、固定してください。
●風の強い場所では、商品の周囲に十分な空間を確保してください。周囲を囲うと商品に予想以上の風圧がかかり、破損、倒壊の可能性があります。
●商品を改造したり、穴をあけたり、当社オプション品、付属品以外の取り付けは避けてください。商品の性能が低下する可能性があり危険です。
●組み立て、施工終了後は、必ず商品が正しく組み立てられているか確認してください。特にボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。
●施工終了後は、汚れを取り除き、誤って表面にキズをつけた場合には、専用の補修塗料で補修してください。
●商品のささくれを見つけた場合は取り除いてください。特に切り詰めなど現場加工の場合は必ず行ってください。
●コンクリート、モルタルに木材が直接触れると変色する可能性があります。すき間をあける等の対策をしてください。

基礎工事について

注意

●基礎は安全のため必要な強度を十分確保してください。
●凍上する可能性のある寒冷地に設置する場合は、必ず凍上線の下まで基礎部を確保するように施工してください。
●取扱説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。現場の地盤状態に合った基礎部の寸法（基礎体積）にて施工し、安全を確保してください。
●施工時、コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）や、コンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）で塩素系や強アルカリ系のものは絶対使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊の可能性があり危険です。
●組み立て、施工時、商品にコンクリート（またはモルタル）の抽出液が付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性のため、施工後シミ、ムラなどが発生し、外観不良の原因になります。付着した場合は、速やかに水を含ませた布などでふき取ってください。

使用上のご注意

注意

●商品の切り口に切断時のささくれが残っている場合や、現場加工にともないささくれが発生する場合があります。手などにケガをしないように、取り扱いには十分注意してください。発見した場合は放置せず、施工店様に連絡してください。
●危険ですから、商品の近くで火気を使用しないでください。
●定期的に接合部のチェックを行い、ボルトや木ビス等のゆるみがあれば締め直しを行ってください。お施主様でできない場合は、施工店様に依頼し必ず直してください。
●雨の後などで濡れた状態でご使用になると、樹液などが表面に染み出して衣服等を汚す場合がありますので、十分注意してください。
●商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃、荷重を与えると破損、倒壊事故の原因になります。絶対にしないでください。
●無理な荷重をかけないでください。商品の上で飛んだり、跳ねたりしないでください。ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。
●局部的に重い物をのせたり、立てかけたり、ぶらさげたりしないでください。ボールなど投げつけたりしないでください。
●安全性の高い材料を使用しておりますが健康を害する恐れがありますので、小さなお子様やペットがなめたり、かじったりしないように注意してください。
●商品を改造したり、穴をあけたり、当社オプション品、付属品以外の取り付けは避けてください。商品の性能が低下する可能性があり危険です。
●運動具やお子様の遊具、踏み台、ふとんや洗濯物を干す等、目的以外の使用は絶対にしないでください。
●商品が破損したり、グラつく場合は、すぐに施工店様に連絡してください。破損したままで使用していると事故の原因となり危険です。
●積雪のある地域では、必要に応じて早期に除雪してください。

天然木製品に関するご注意

注意

当商品は天然木材を使用しており、その特性から避けられない下記のような現象が生じますので、ご了承ください。
- ●使用する材の色の違いにより、商品に個体差が生じる場合があります。
- ●経年変化により若干の反りや色変化がありますが、強度には影響ありません。
- ●紫外線や雨による色あせ、ヤセや割れといった経年変化が生じます。
- ●天然木製品は、経年変化、気象条件により、伸縮や膨張することがあります。
- ●年数の経過により割れや腐食がひどくなった場合は、安全面を考えて使用を中止し、解体処分してください。
- ●部材によってカケ、ささくれ、入り皮、若干の反りやヒビ割れが生じる場合があります。また、使用にさしつかえない程度の節や抜け節があります。
- ●商品改良のため、予告なしに仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ●長くお使いいただくためには定期的なメンテナンス（木材保護塗料の塗布など）をおすすめします。

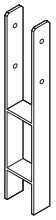
お手入れ方法・塗装に関して

- ●雨や紫外線による色あせ、含水率減少によるヤセや割れといった経年変化が生じます。長く使っていただくために、定期的なメンテナンスをおすすめします。
- ●いつまでもより美しくご使用いただくためにも1年を目処に、木材保護塗料の塗り替えをおすすめします。
- ●木材保護塗料を塗る場合は、施工店にご相談いただくか、市販の木材保護塗料をご購入のうえ、ご自分で塗り替えてください。
- ●塗料の使用時には、塗料に記載されている注意事項を厳守してください。
- ●塗り替える前には商品を水洗いし、よく乾かしてから塗装してください。
- ●必ずハケで塗装してください。その後乾いた布でふき取ると、仕上がりが良くなります。保護塗料には薬品が含まれているので、スプレー塗装は避けてください。
- ●木の通気性を損なう種類のニスやペンキによる塗装は絶対に避けてください。木材内部の水分が発散されないため、内部で腐食する恐れがあります。

地中埋込金具の使用について

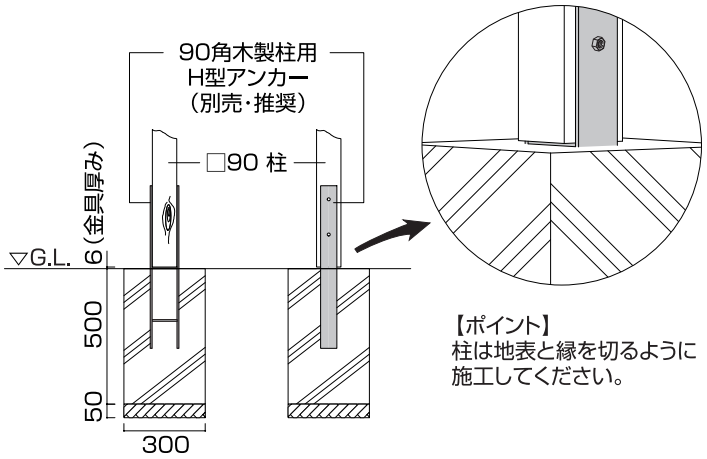
e-ウッドは防腐防蟻薬剤を注入してありますが、地面に含まれる水分と柱との接触を避けることで、強度や寿命を高めることができます。柱を立てる際は、専用の地中埋込金具のご使用を推奨いたします。パネルの種類や状況により、使用する埋込金具が異なりますので、詳しい選択はカタログをご覧ください。

①直接埋め込む場合を想定して、柱は推奨使用時よりも長くなっています。埋込金具を使用する際には現場でカットしてください。
②柱には、埋込金具と柱を固定するための六角ボルトを貫通させる穴があいていません。現場にてφ12程度の穴あけ加工をしてください。



90角木製柱用
H型アンカー（別売）

■90角木製柱用H型アンカー取付図

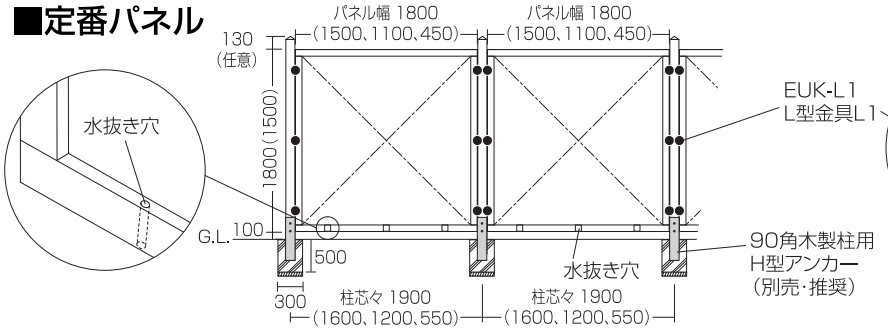


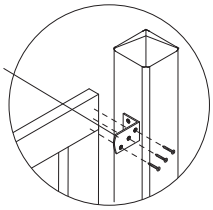
【ポイント】
柱は地表と縁を切るように施工してください。

施工参考図

※パネル枠に水抜き穴が付いている方を下になるように取り付けてください。
パネル1枚につき水抜き穴が2～5カ所あいています。（パネルによって水抜き穴の数が異なります）

■定番パネル

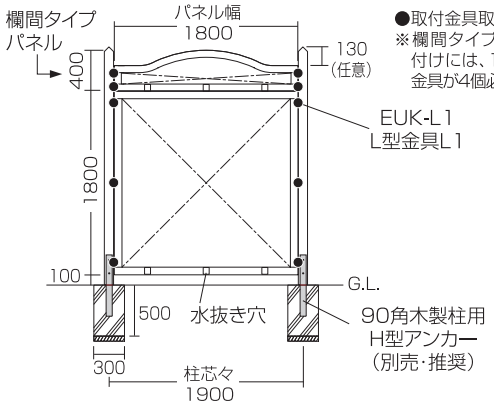




●取付金具取り付け部位
※フェンスの取り付けには、1スパンにつき金具が6個必要となります。

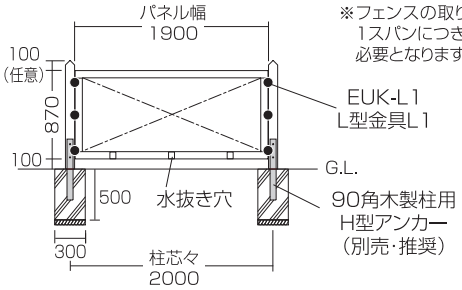
天然木製品の特性上、パネルと金具のクリアランスは、片側で2mm（1スパン分では4mm）を考慮しております。

■欄間タイプ



●取付金具取り付け部位
※欄間タイプパネルの取り付けには、1スパンにつき金具が4個必要となります。

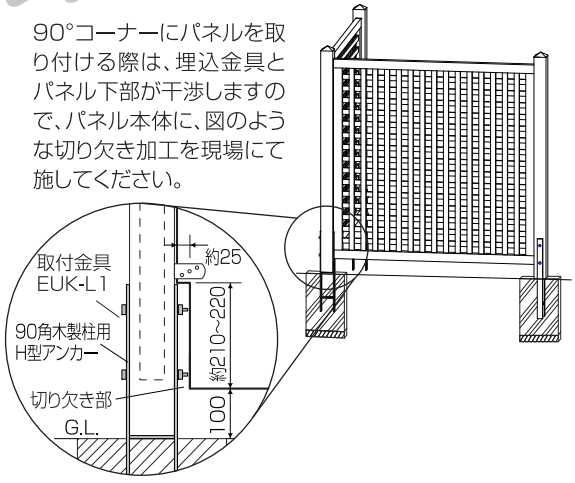
■ローフェンスタイプ



●取付金具取り付け部位
※フェンスの取り付けには、1スパンにつき金具が6個必要となります。

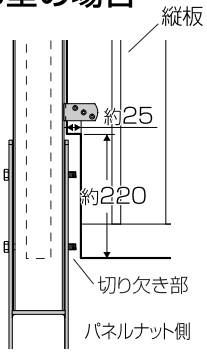
コーナー部の切り欠き

90°コーナーにパネルを取り付ける際は、埋込金具とパネル下部が干渉しますので、パネル本体に、図のような切り欠き加工を現場にて施してください。



■e-ウッドパネル12、13型の場合

●90°コーナーにe-ウッドパネル13型を取り付ける際は、縦板を右図のように切り欠き、縦板に留めるように施工してください。
※e-ウッドパネル13型の板厚は15mmと薄いため取付ビスは現場にて別途ご用意ください。
●e-ウッドパネル12型の90°コーナーの場合、柱を2本建てて施工してください。

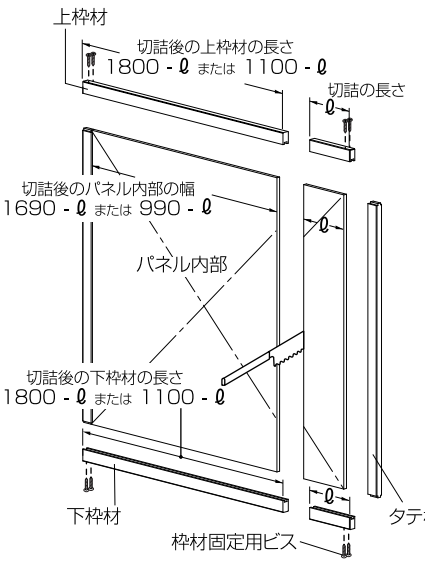


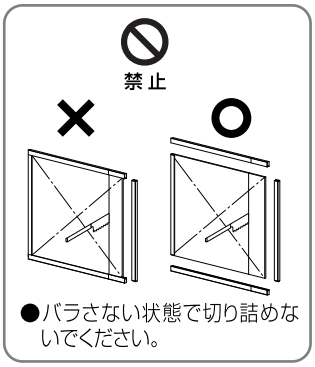
切詰方法

1.パネル本体のビスを外し、タテ枠材、上下枠材、パネル内部をすべてバラバラに分解して、上枠材、下枠材、パネル内部をそれぞれ切り詰めたい長さだけ切断してご使用ください。

2.パネルを切り詰め、採寸確認後、上下枠材、タテ枠材をビスで固定してください。

ポイント
●左右のバランスを取りながら切り詰めると、より美しく仕上がります。
●切り詰めにはよく切れる目の細かい木材用ノコギリを使用してください。



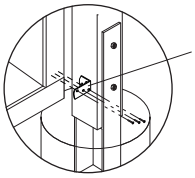


●バラさない状態で切り詰めないでください。

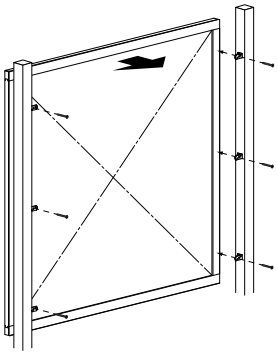
各部材の寸法がそれぞれ異なりますので、切詰後の各部材寸法を十分確認のうえ、タテ枠材を取り付けてください。

セミパネル、R、組子タイプの柱位置の決定、パネル取付金具の説明

下記図を参考に、柱位置を決定し、パネルを取付けてください。柱とパネルの取付けは、専用の取付金具 EUK-L1をご使用ください。●印は取付金具取り付け部位です。フェンスの取り付けには、1スパンにつき金具が6個必要となります。

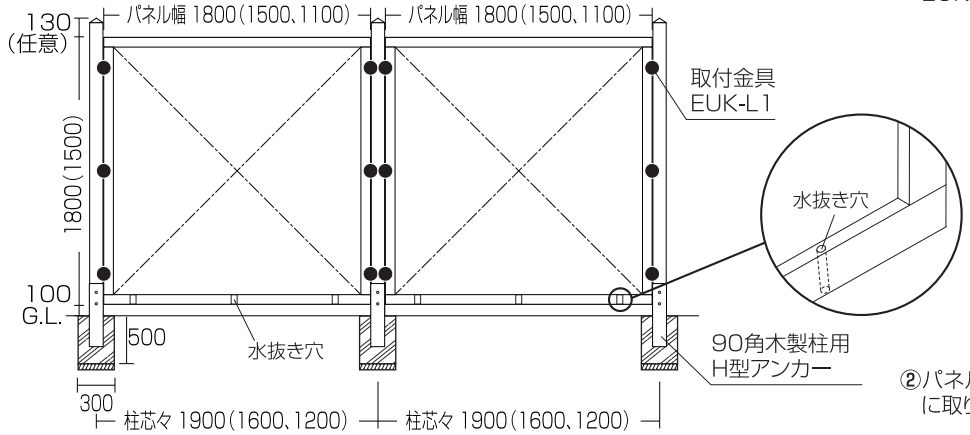


①柱側に長い方のビス（2本）で取付金具EUK-L1を図のように取り付けます。



②パネル側は、短い方のビス（3本）で図のように取り付けます。

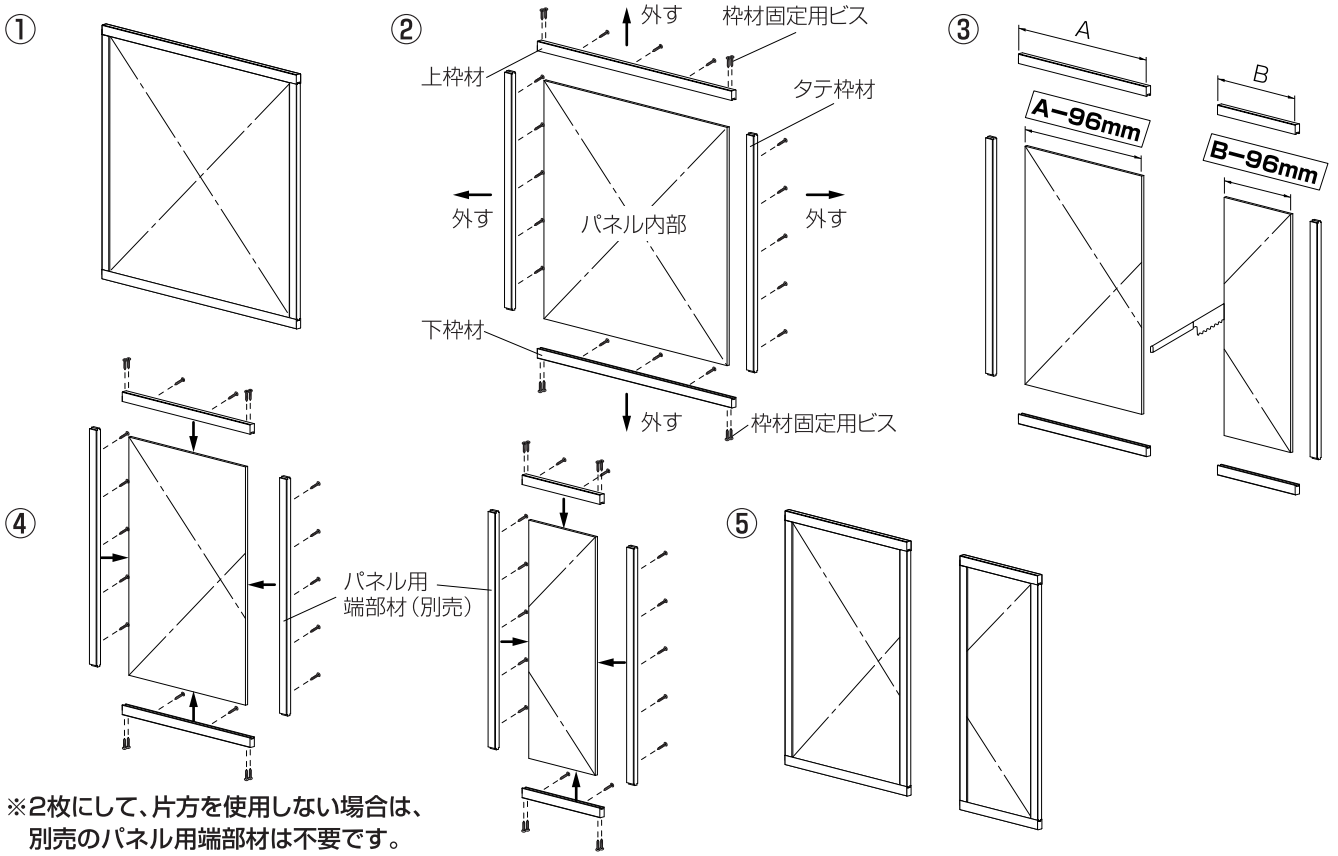
※パネル枠に水抜き穴が付いている方を下になるように取り付けてください。
パネル1枚につき水抜き穴が2～5カ所あいています。（パネルによって水抜き穴の数が異なります）



切詰方法

※カタログに切詰不可と明記されたものは、切り詰めできません。
※ここでは、1枚のパネルを2枚にして使用する方法を記しています。

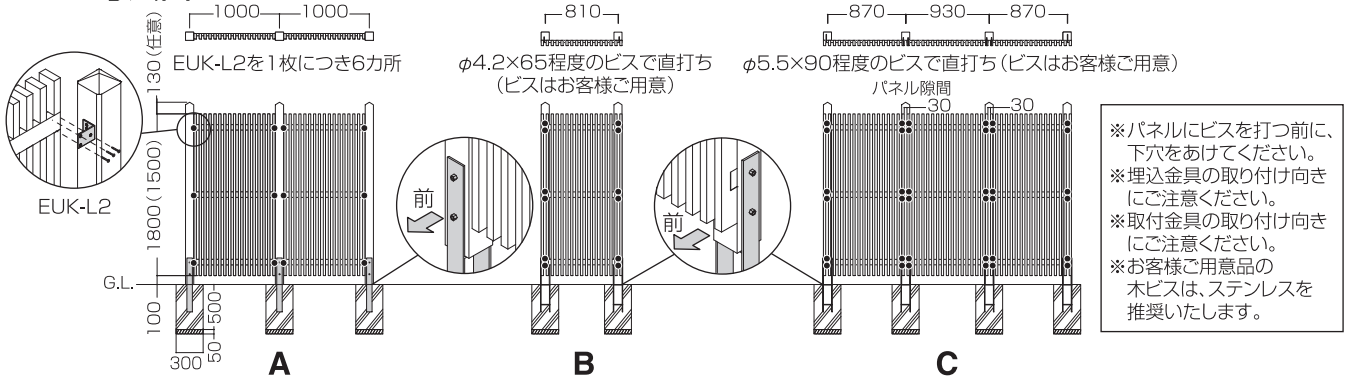
①切り詰めするパネル本体を準備します。
②パネル本体のビスを外し、タテ枠材、上下枠材、パネル内部をすべてバラバラに分解します。
③上下枠材、パネル内部をそれぞれ切り詰めたい長さだけ、切断してご使用ください。
④ビス留めする前に仮組みをし、サイズをご確認ください。その後、上下枠材、タテ枠材をビスで固定してください。
⑤完成です。



※2枚にして、片方を使用しない場合は、
別売のパネル用端部材は不要です。

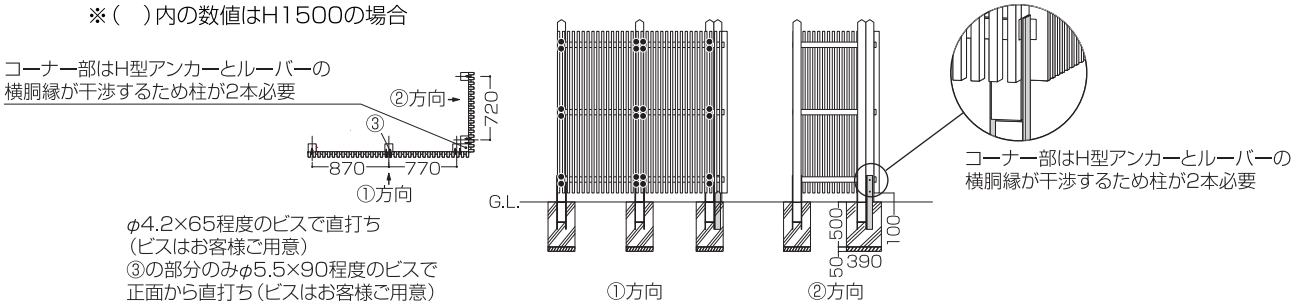
パネル12型の柱位置の決定、パネル取付金具の説明

■12型寸法図



※パネルにビスを打つ前に、下穴をあけてください。
※埋込金具の取り付け向きにご注意ください。
※取付金具の取り付け向きにご注意ください。
※お客様ご用意品の木ビスは、ステンレスを推奨いたします。

※（　）内の数値はH1500の場合

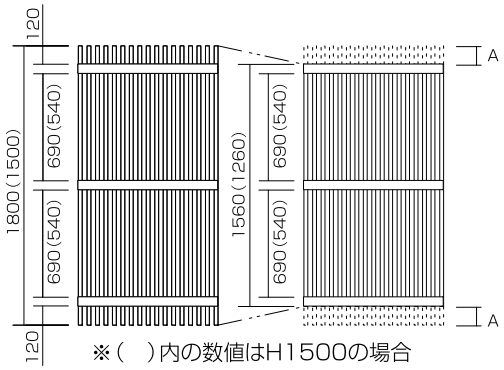


コーナー部納まり（施工方法C）

パネル12型の切詰方法

■12型ルーバー　高さ切り詰めの場合

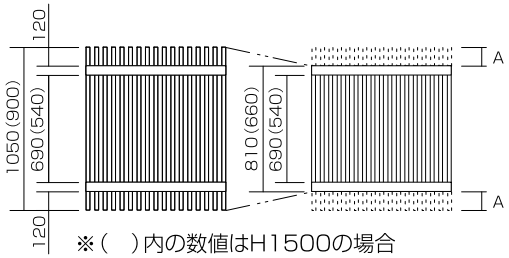
1



※（　）内の数値はH1500の場合

1800～1560（1500～1260）の範囲で高さカットしてください。
・横胴縁3本を必ず残します。
・上下の切り詰め長さAは均等にカットします。

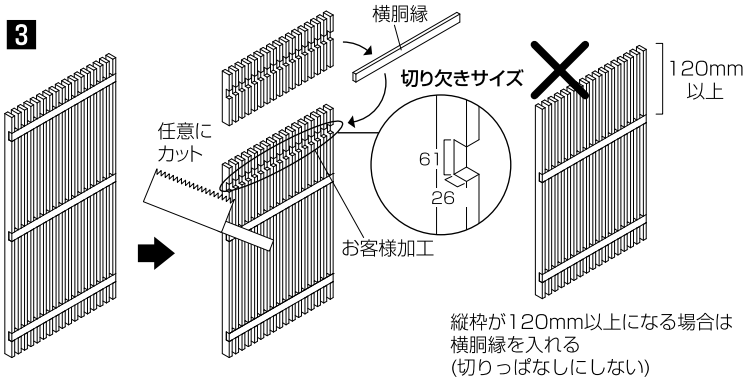
2



※（　）内の数値はH1500の場合

1050～810（900～660）の範囲で高さカットしてください。
・横胴縁2本を必ず残します。
・上下の切り詰め長さAは均等にカットします。

3

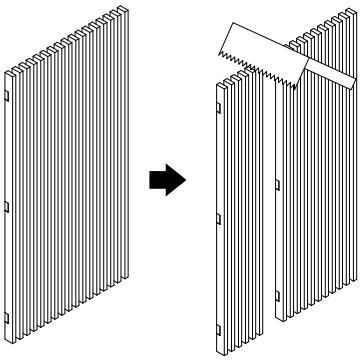


縦枠が120mm以上になる場合は
横胴縁を入れる
(切りっぱなしにしない)

左記2パターン以外は、お客様で縦枠に、横胴縁用の切り欠き加工を行ってください。切り詰め時にパネル全高が1200mm以上になる場合は、横胴縁を3本にしてください。

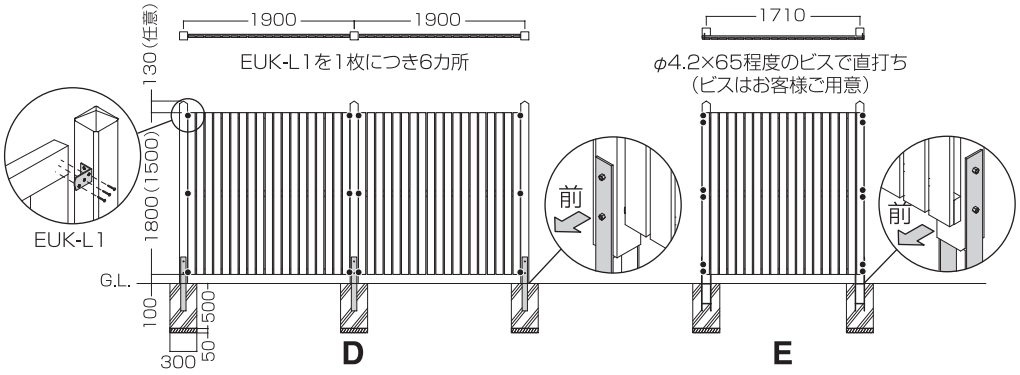
■12型ルーバー
幅切り詰めの場合

お好みの幅で切り詰めが可能です。

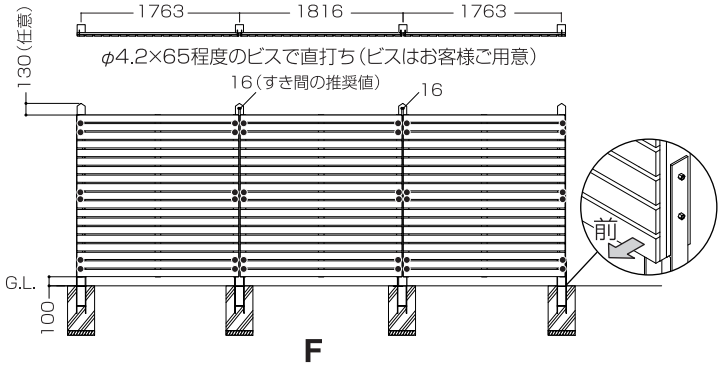


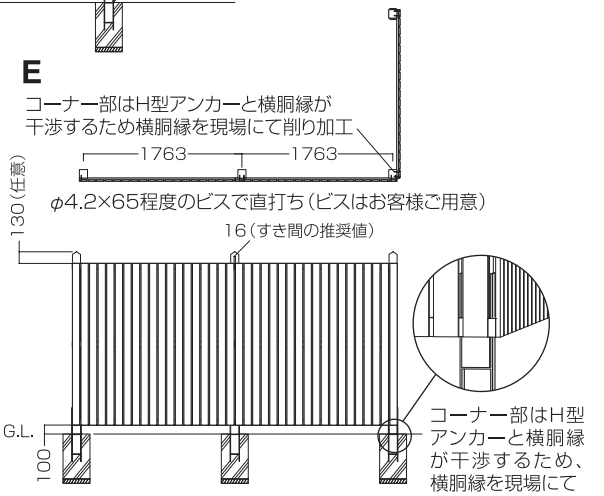
パネル13型の柱位置の決定、パネル取付金具の説明

■13型寸法図



※パネルにビスを打つ前に、下穴をあけてください。
※埋込金具の取り付け向きにご注意ください。
※取付金具の取り付け向きにご注意ください。
※お客様ご用意品の木ビスは、ステンレスを推奨いたします。





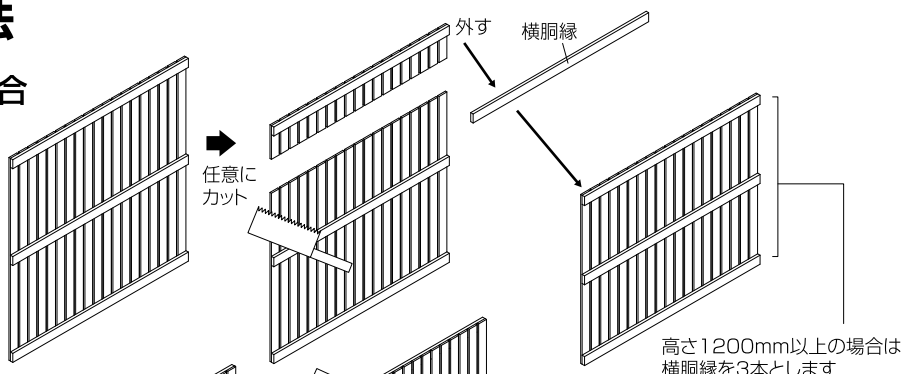
コーナー部納まり（施工方法E）

※詳しくは4ページをご参照ください。

パネル13型の切詰方法

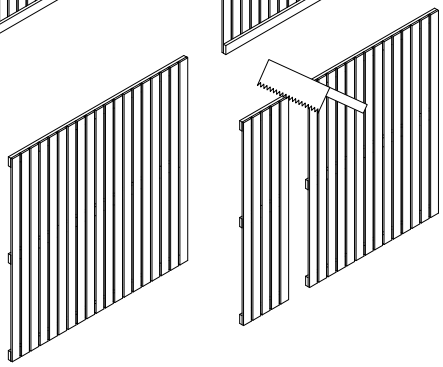
■13型板塀　高さ切り詰めの場合

・任意の高さで切り詰めが可能です。
・切り詰め時にパネル全高が1200mm以上になる場合は、横胴縁を3本にしてください。その際、横胴縁を高さ方向に等間隔に並べると見栄えよく納まりますが、初めに留めてあったビス穴が見えてしまうので、状況により施工を変えてください。



■13型板塀　幅切り詰めの場合

お好みの幅で切り詰めが可能です。



廃棄について

ご不要になった商品、また現場で発生しました残材等につきましては、産業廃棄物（安定型）になりますので、各地域の条例等に従って正しく処分してください。

MADE IN CHINA

お客様サービスセンター　通話料無料　0120-51-4128（こい よいにわ）　受付時間/月～金　AM9:00～PM5:00（祝日は除く）

株式会社タカショー　本社／〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂20-1　TEL. 073-482-4128（代）　FAX. 073-486-2560（代）